

例会報告：2015年11月10日（曇り） 第1910回 通常例会

❖ ニコニコ箱

櫻井 康二 委員長

	ニコニコ箱	累計	目標
11月10日分	19,000	365,535	1,300,000

＊卓話者

田所 啓二様（相模原大野RC）…地区R財団資金推進委員会の田所でございます。本日はよろしくお願ひいたします

＊会員誕生日

一寸木 芳行さん…誕生日のお祝いありがとうございました。当日は欠席してしまい申し訳ありませんでした。

＊奥様誕生日

杉本 博愛さん…妻の誕生日にお祝いをいただきありがとうございました。我が家のリビングが花と笑顔で2倍に明るくなりました。

＊その他

執行部一同…めっきり日が短くなり、陽気もスッキリしない日が続いております。会員の皆様にはお身体をご自愛下さい。

米山委員会（大谷 宏・河野 秀雄・須藤 公司さん）…皆様ご機嫌いかがでしょうか。今週と来週、米山記念のご厚志をお願いいたします。よろしくお願ひ申し上げます。

清 康夫さん…小田原城外壁塗装工事に、当社（株）フジミにて提案しました塗料が、下地から上塗まで全面的に採用されました。

石崎 孝さん…田所委員長にはご多用の中、当クラブにおいでいただきご苦労様です。本日よりお願ひいたします。

柳井 涉さん…長女が今春より無事就職をして研修も終わり、昨日0:38の羽田からブルキナファソに出張に出発しました。初めて一人で行きます。無事に元気で仕事をしてほしいです。

志澤 昌彦さん…田所様、本日は遠路はるばるありがとうございました。卓話よろしくお願ひいたします。

■ ■ 今後のメークアップ情報 ■ ■

-2015年11月-

▶18日(水) **小田原北** 報徳会館 12:30
「卓話：私にとっての小田原北RC/柴崎会員・前川会員・権藤会員」

▶19日(木) **小田原中** 報徳会館 12:30
「卓話：会員10分間スピーチ/鈴木会員・竹石会員・田中裕子会員」

▶20日(金) **湯河原** ニューウェルシティ湯河原 12:30
「卓話：会員による卓話」

▶20日(金) **足柄** おんりーゆー 12:30
「卓話：地区Rの友委員長様（予定）」

▶23日(月) **小田原** 休会

▶24日(火) **箱根** 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「会員による卓話」

▶25日(水) **小田原北** 報徳会館 12:30
「卓話：アールドヴィーヴル萩原代表・アートディレクター中津川様/50周年関連」

▶26日(木) **小田原中** 報徳会館 17:30
「クラブ協議会」 定例年次総会

▶27日(金) **湯河原** ニューウェルシティ湯河原 12:30
「卓話：会員による卓話」

▶27日(金) **足柄** おんりーゆー 12:30
「卓話：南足柄市金剛寺 佐々木杏穂様（予定）」

▶30日(月) **小田原** 報徳会館 12:30
「卓話：日本危機管理士機構会員 日本自治体危機管理学会会員 豊嶋 輝慶様」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電 話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創 立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例 会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監 修：柳井 涉
編集長：小林 和彦
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：大川 久弥・杉本 博愛

会員数：46名



RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2015-2016
WEEKLY BULLETIN



世界へのプレゼントになろう

【R.I. 会長】
K. R. ラビンドラン
【R.I. 2780地区ガバナー】
田中 賢三
【第9グループガバナー補佐】
石崎 孝



【会 長】木村 頼弘
【副会長】久保田 知子
【幹 事】柳井 涉
【副幹事】須藤 公司
【会場監督】西 寛

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

本日の例会：通常例会（第1911回）

会場：小田原卸センター内会議室

日時：2015年11月17日 12：30～13：30

司会：須藤 公司 副幹事

12：30	開会点鐘：木村 頼弘 会長 ロータリーソング斉唱 「我等の生業」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13：00	担当：金山会員 卓話：日本体育協会上級スポーツ指導員 神奈川県工アロビック連盟 理事 川口喜代美 様 「背中を意識して！！」
13：30	閉会点鐘：木村 頼弘 会長

■寄稿

「ロータリーとは」

個人ではなんともならないではなくて、個人だからなんでも出来る、そして個人を育てる所が実はロータリークラブなのです。1974年のロビンスRI会長 “RENEW THE SPIRITS OF ROTARY” “ロータリー精神を奮い起こせ”という素晴らしいターゲットを出した会長が言っております。ロータリークラブの値打ちは、地域社会にどんなプロジェクトを実施したかは問題ではない、そのクラブがどの様な人間を育てたか、これがロータリークラブの値打ちを決めるのだと言い切っております。まさにロータリークラブはいろんな人を育てていく所なのであります。ロータリーとライオンズの違いは、一丁ずつの鉄砲を100丁集めて大砲にしてドスンと撃つ（団体奉仕：We Serve）それがライオンズ、ロータリークラブの発想は100丁の鉄砲をそれぞれ100門の大砲に育てていくことにロータリーの本願が有ります。（個人奉仕：I Serve）100丁の鉄砲を100門の大砲に育てていく、それにはロータリアンをクラブ例会を通じて育てていく、これがロータリーの奉仕であります。

それでは、ロータリークラブは何をする所か、まず第一は自己研鑽をとげる所。第二は職業倫理訓を宣言する事。第三に個人奉仕の絶対性を信奉する事。第四番目に個人奉仕も大切だが、団体奉仕も忘れてはならない。個人奉仕にはクラブの事業計画の中に組み込める個人奉仕と、クラブの事業計画とは全く関係なくやっていく個人奉仕があります。今のロータリークラブは、団体奉仕しか事業計画に組み込んでいません。そうではなくて、個々の個人奉仕も組み込まなければなりません。事業計画と関係なく実践する個人奉仕とは、先程の第三項に個人奉仕の絶対性を信奉せよという形で解決できています。ですから、今度は個人奉仕の中でクラブの事業計画に組み込める個人奉仕を提唱する事と団体奉仕も提唱する事も大事であります。で、国際ロータリーとは何かであります。それは、全世界のロータリークラブの連合組織体であります。その機能は、第一に奉仕理念を提唱する事。第二はロータリーを拡大すること。第三には情報の媒介であります。これ以外の事はRIは実践できません。

河野 秀雄

例会報告：2015年11月10日（曇り） 第1910回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
 日時：2015年11月10日 12：30～13：30

◆ 会長挨拶 「木守り」について



木村 頼弘 会長

今日は、この時期が食べごろの果物「柿の実」についてお話しします。柿は昔から、柿の実が赤くなると、医者が高くなると言われる程、栄養価が高く、保存食として尊ばれてきたそうです。我が家にも1本の柿の木が植えてあります。食べ頃なのか、幾つか鳥に食べられて、そろそろ実を取らないといけないと思い、先日ようやく、取り終わりました。

いつも私は役目ではないのですが、なぜか今年は気になったもので、何とかノコギリを持ちながら、脚立に登って、ほとんど取る事が出来ました。しかし、どうしても木の1番高い所に2つほど残っておりまして、これが取れないんです。枝を切ってなんとか取ろうと思った時、ふと、あの光景が頭を過ぎったんです。そう言えば、柿の木が全部、実を取らずに1～2個残してある光景を思い出したんです。なぜ全部取らず残すのか不思議だと思った事を思い出しました。皆さんもどこかで1度は、そのような光景を必ず見たことがあると思います。

そこでなぜ柿の実を全部取らずに、1～2個残すのか調べてみました。その結果、柿の実を残すという風習は日本古来から伝わる「木守り」と呼ばれているそうです。「木を大切にお守りする」という習慣があったそうです。その実を残す理由も幾つかありまして、
 (1)来年も沢山、実が成ります様にと願いを込めて、1番高い所の実を1.2個残すそうです。
 (2) 鳥などが木に付いた虫を取ってくれたり、種を撒き散らし子孫を増やす、お礼として、生き物への感謝の気持ちを込めて残すそうです。
 (3)そして最も大きな理由が収穫の喜びと恵みに感謝し、最後の一つを神様のお供え物として残すと言う意味があるそうです。これは柿の実だけに限ったことではなく、ミカンやリンゴも、また稲穂も1つ残す習慣があったそうです。

調べて見て、本当に昔の人は食物を「自然からの恵み」すなわち「神様からの授かり物」と考え、神様への感謝の気持ちを大切にされた事は、素晴らしいなと感じました。今月の11月23日、この日は全国の神社で新嘗祭が執り行われます。これも、今年とれた五穀（米・麦・粟（あわ）・黍（きび）・豆）を神々に供え、収穫に感謝する、重要な祭典の一つが執り行われます。



日本人の自然の恵みに感謝する気持ち、またそれに関わる生き物への感謝の気持ちそして日本人独特の感受性、まさに世界に誇れる感性だと感じました。

最後になりますが、我が家の柿の木にも、ポツンと2つ柿の実が残っております。ちょっと寂しそうですが、全部取らずに良かったなと思っています。

◆ 幹事報告



柳井 渉 幹事

- 1) 本日第5回理事会が開催されました。
- 2)小嶋会員が10月14日から入院して21日に手術され現在リハビリをされています。
- 3)田中ガバナーより公式訪問のお礼状が届いています。

◆ 委員会報告

社会奉仕委員会・阿久津委員長

聴導犬・盲導犬・介助犬育成費用として募金活動を行います。12/6（日）小田原駅構内、小田急線改札を出て左側の所です。集合は小田原駅西口交番付近に9：15頃の予定です。最低でも14名、メーキャップの対象にもなりますので皆さまご協力ください。11/17までに事務局へ出欠席をご連絡をお願いします。

親睦活動委員会・上田委員長

12/15のクリスマス家族例会のご案内です。今回はオホーツク観光大使の歌手の方に来ていただき、オホーツクの食材を使います。蟹は網走の観光協会さんから安く分けていただきました。エミューの肉、クジラ、うに、帆立などもご用意します。小学生以下は無料ですので、是非多くの皆様ご参加ください。バスは小田原駅16：30集合です。

◆ 出席報告

阿久津 馨 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
11月10日	46(42)	34	2	85.71%
10月27日	46(42)	32	7	92.86%
10月20日	46(44)	39	2	90.91%

【欠席者】8名
 小嶋 章司、大川 裕、杉本 博愛、石坂 弘之、仲 徳子、鈴木 竜哉、大川 誠、杉崎 勝成

【今回MU】2名
 仲 徳子（11/2 小田原RC）
 杉崎 勝成（11/4 米山）

【前回MU】4名増加
 小林 和彦（11/2 小田原RC）
 一寸木 芳行（11/2 小田原RC）
 菊地 義雄（11/6 足柄RC）

小嶋 章司（11/9 E）

【前々回MU】1名増加
 小嶋 章司（11/9 E）

◆ Table Flower

- ガーベラ
 - マトリカリア
 - レッドジェムメラリウカ
- 【花言葉】
 ガーベラ：希望
 マトリカリア：集う喜び



◆ 卓話

「ロータリー財団の仕組み」



第2780地区 ロータリー財団資金推進委員会 田所 啓二 委員長

ロータリー財団は「寄付を受け取り、ロータリークラブや地区の人的及び教育的活動でロータリー財団が承認したものに補助金を提供する非営利法人」と定義されています。「寄附を受け取る」「補助金を提供する」、これこそがロータリー財団の役割です。

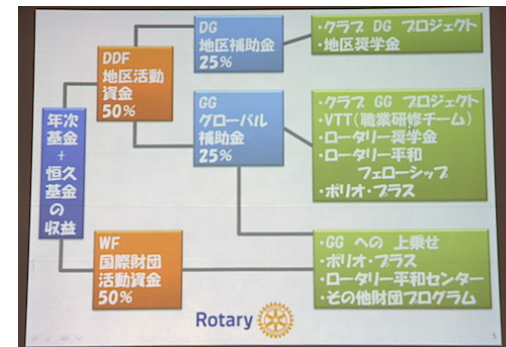
1917年にアーチC.クラフが、世界的な規模で善意・教育その他社会奉仕の分野でより良いことをするために基金を作ろうと提案しました。1931年11月12日にロータリー財団は国際ロータリー理事会同意の下に信託宣言をし、信託組織となりました。「ロータリー財団が受け取り管理する財産及びその収益は全てロータリーの行う活動のためにのみ支出される」というもので、この宣言は今も生きています。

RIの使命は「他者に奉仕すること」「高潔性を推進すること」「世界理解・親善・平和を推進すること」の3項目から成っており、ロータリー財団の使命はこの3番目の世界理解・親善・平和を達成できるようにすることです。「慈善的且つ教育的目的、且つ法人会員（RI）の承認した他の目的と目標のためにのみ組織され、運営されるものとする。この目的の中には博愛・慈善・教育という特質を持つ」。つまり財団は人道支援と奨学金を目的に組織され常に運営されているわけです。

ロータリー財団への寄付は大きく分けて3種類です。年次寄付は毎年続ける寄付で、財団を存続させるための燃料の役割です。そして年次寄付は3年後のプログラムに使われます。2番目に恒久基金寄付で、これは寄附の基金を使わず収益のみをプログラムに使います。この2つは同時に重要で、年次寄付は今日の財団を支え、恒久基金は明日への安定をもたらします。3番目は使途指定寄付で、使い道を決めて寄付するものです。ポリオ・プラスはポリオワクチンの購入と輸送、ポリオ・プラス・パートナーは予防接種日の地域社会動員の資金になります。他にも承認済みのグローバル補助金プロジェクトなどがあります。詳しくは資料をご覧ください。

補助金の提供について。年次寄付は3年間、年次基金として保管しその収益から経費を賄い補助金として提供されます。恒久基金寄付は恒久基金として運用し、その収益のみを補助金として提供します。年次基金は2780地区の年次寄付金額によってその年その年で金額が上下します。また地区のDDFから地区補助金・グローバル補助金がそれぞれ25%ずつ出ます。地区補助金はクラブの地区補助金プロジェクトや地区奨学金に使われ、グローバル補助金はクラブのグローバル補助金プロジェクトや職業研修チームプログラム、ロータリー奨学金、ロータリー平和フェロー、ポリオ・プラスなどに使われます。

地区補助金実施プロジェクトの一例です。神奈川湘南RCがミャンマーで行った「重篤な脳障害に繋がる新生児の核黄疸を早期発見治療するため、血中ビリルビン濃度測定装置を病院に



寄贈した」事例。藤沢東RCと藤沢市内6RC共同で「フィリピン共和国ピナツボ火山麓地区の生活用水給水施設を整備した」事例。地区と神奈川湘南RCが合同で行った「日本政府に難民定住申請をする申請者に日本語の会話や生活習慣、文化の違いなど定住できるための知恵と、職業を得るための支援を行った」事例。大和中RCと大和市内2RC共同で行った「大和市の幼児から高齢者、身体障がい者まで交通弱者と言われる方を対象に交通安全教室を開催し、安心安全な街づくりに貢献した」事例。秦野名水RCが行った「在宅介護家族の過労や疲労・ストレスなどを少しでも軽減させるために効果のあるメンタルケアを実施した」事例。地区奨学金プロジェクトの一例です。湘南藤沢RC推薦の斎藤さんはロンドンで難民支援政策を専攻し、将来国連または国連難民高等弁務官事務所などで生涯難民支援に携わる仕事に就くことを目標としています。相模原RC推薦の荻野さんはイギリスの大学院で英語教育を専攻し、日本の英語教育の変革に貢献することを将来の夢として期待されています。

グローバル補助金の実施例です。ロータリーが掲げる3つの重点分野に合わせた形のプロジェクト、というのが条件になっています。平塚湘南RCが行った「フィリピン・シキホール島の村や学校に飲料水の供給システムを提供した」事例。これは水と衛生という重点分野のプロジェクトです。地区と藤沢東RCが行った「インド山間部ラダック地方の女性のための識字率向上プロジェクト」、寒川RCが行った「台湾東部結核をなくすための疾病予防と治療という重点分野のプロジェクト」など。

グローバル補助金のVTT（職業研修チーム）プロジェクト、これは横須賀RCが行った「フィリピン・ネグロス島へ人口蓋裂の治療技術を伝えるプロジェクト」です。ロータリー奨学金プロジェクト。大磯RC推薦の内科医・高谷さんはエボラ出血熱やデング熱などの感染症に対し使命感を持って生涯の仕事としたいと留学しています。小田原北RC推薦の看護師・杉山さんは世界の公衆衛生に貢献するためにパリで、秦野中RC推薦の野呂田さんは将来途上国の貧困対策で活躍したいとロンドンで勉強されています。ロータリー平和フェローシップでは、奨学金の受領者はそれぞれの地域とグローバル社会で平和と紛争解決分野でリーダーシップを発揮するスキルを培っています。現在、神奈川湘南RCでコロンビア出身の、鎌倉RCではインド出身の学生が学んでいます。今後活躍が期待できる奨学生を我々の寄付で支援しているのです。

ポリオ・プラスについて。10/26に「最終段階にきたポリオ根絶の危機に向けた日本の挑戦」と題した世界ポリオデーシンポジウムに参加してきました。「ポリオは本当にあと少しで撲滅可能なのか？」という質問にJICAの方が「治安などの状況が急変しなければ2016年のポリオフリー、2019年の撲滅宣言は可能である」と述べておられました。そして「社会問題を解決する上で一番大切なのは平和であること。そのためには目に見えないところで様々な地域貢献をしている、大きなエネルギーを結集しなくてはなりません」と。この話を聞いてロータリーの重点分野を思い浮かべました。平和と紛争予防・紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生設備、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展。我々ロータリアンはこれら6つの分野において地道にロータリー運動を展開しています。ポリオ撲滅まであと少し、最大の脅威は資金不足です。ポリオ撲滅運動の先駆者は二人の日本人です。その誇りを忘れず、一人一人のロータリアンが寄付を通して行動をすることが最も重要ではないでしょうか。

財団はロータリー運動を支えるエンジンであり、その役割は変わりません。我々の支援、利他の心で善意のロータリー運動を続けていきたいと願っています。